

活動レポート



特別支援の体験発表

今年度第1回目となる「学習支援者の集い」が4月20日、カレッジ学習室で開かれ登録者ら50人が参加しました。中沢委員長に代わって新委員長に就任した加藤勇治さんが、①実活動者の拡大②支援内容の充実③支援者のスキルアップ、に重点をおいて活動していきたいと挨拶。特別支援の要請が多いのに、これらにできていない現状などが取り上げられました。

特別支援とは日常どんなことをしているのか…教室風景や校外授業のビデオ映像を使った体験発表もあり、参加者には大いに参考になったようです。環境教育の教材として作成された『ノリカちゃんとコウノトリ』（14期生の作品）のビデオも上映されました。小学校に寄贈し、子供たちに見てもらおうとの狙いで、支援活動の幅を広げる試みの一つです。



フラワーパークに飾られた七夕の笹飾り

七夕祭り裏方さん奮闘

フルーツフラワーパークの七夕祭り（5日）。昔あそびの会員は17期生も交えた23人。8時30分にわの本部スタッフとカレッジを出発して12時オープンに備えた。1本の笹に5～6個の折



り紙や切り紙、チョウチンなどを付けるので、200本

私のボランティア日記

むかしあそび研究会 田邊瑩子(福12)

6月13日（日） 雨。神戸実業学園（兵庫区）の学園祭に30人で参加する。10時頃から、激しい雨となり、テントは水浸し。七夕かざりも無残に変形、笹竹に飾ることもできない。やむなく予定のメニューを縮小し、会員は交代で学園祭を見学することにした。

私が足を止めたのは、「アロマろうそく・無料体験」。空き瓶に着色用のクレヨンを少量けずりいれ、湯煎にかけた使いふるしの油（凝固剤が入っている）を適量注ぎ、好みの香りエッセンスを数滴入れ、割り箸にはさんだ芯を瓶の口に渡し、固まるまで10分位待つて完成！さらに嬉しかったのは、折り込みチラシや包装紙を再利用した可愛い手作りの手さげ袋に入れてもらえたこと。そうだ！「手作り手さげ」を、「折り染め」で作ったら、すてきになるかも？

帰宅後、丁寧に解体し、寸法をはかり試作にとりかかった。和紙なので水気には弱いけれど、お菓子や小物を入れてプレゼントしたら喜ばれそうな物が出来あがった。これは8月の行事に提案しよう！

の笹にはざっと1000個の飾りがいる勘定。ひたすら折る、切る、作るの作業を3時間。「ああしんど。手が痛くてしびれたわ」。糸車の皆さんも熱演でした。絵本の朗読、「〇△□な～にかな」のクイズ、紙芝居の3本立てで2回の公演。いずれもホールの50席は埋まり、子供たちの拍手と笑い声が絶えませんでした。梅雨の晴れ間に青空がのぞき、子供たちの笑顔に疲れもふつとんだ1日でした。

男声合唱団が10周年コンサート

創立10周年を迎えたKSC男声合唱団のコンサートが5月22日、神戸文化ホールで開催され、洗練されたハーモニーで大ホールを埋めた満員の聴衆を魅了しました。プログラムは4部に分かれ、軽妙な司会で世界の歌や日本の歌、花にちなんだオリジナル曲など19曲を披露。合唱団創立時のメンバー7人による黒人霊歌、客席と一緒に歌う「花の街」、カエルの鳴き声がユーモラスな「筑波山麓合唱団」など工夫を凝らした曲の演奏や3度の“衣装替え”といった楽しい演出も目を引きました。「感動を分かち合いたい」（川合実行委員長）という願い通り、客席もくつろぎ、大いに沸いた1時間半でした。